

4/2(火) → 6/30(日)



ふじのくに地球環境史ミュージアム
会場: 企画展示室1
常設展観覧料でご覧になれます。



紙で作った恐竜と本物の化石が見られます。
時々化石クリーニングもやっているよ!

西岡 佑一郎 准教授

「古生物技師 宮澤市郎の世界」

ミュージアムで古生物技師(NPO法人静岡県自然史博物館ネットワーク所属)として活動する宮澤市郎氏。
アンモナイトやナウマンゾウなど数々の化石を採集してきた宮澤氏のコレクションと観察ノートを公開します。
紙工作職人としての顔もあわせ持つ宮澤氏が作った絶滅動物の模型とともに地球生命史をご覧ください。

化石を知ろう!① 草薙のナウマンゾウ化石発掘現場の再現模型

2019年5月、清水区草薙で宮澤氏がナウマンゾウの牙(切歯)の化石を発見しました。当時の発掘現場の様子や発掘に使用した道具を宮澤氏が自ら再現制作した実寸大ジオラマ模型や、ナウマンゾウの実物化石も常設展示室で公開します。

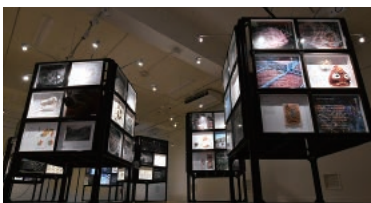
化石を知ろう!② 恐竜時代の静岡には何がいた?

静岡県西部からは、恐竜が繁栄していた1億年前頃の化石が見つかっています。静岡の化石ハンターとして知られる宮澤氏が採集した白亜紀のアンモナイトや巻貝、植物の化石を観察して、恐竜時代の静岡の環境を考えてみましょう。

新展示登場!

ミュージアムキャラバン展「しずおかの食」登場

ミュージアムが2015年より県内各地の小学校などを中心に展開してきた移動展示「ミュージアムキャラバン」。このたび、新たに「しずおかの食」をテーマにしたユニットが加わりました。本県の恵まれた食材(農産物、水産物等)や、本県の食文化を彩る自然の恵みなどについてご紹介します。今後、県内各地で行う移動展示に先駆けて、ミュージアムで展示します。(会場: 企画展示室2)



Hot Topic 4/2(火)~6/30(日) トピックス展 「春は、カワバタモロコ」開催



水ぬるむ春、カワバタモロコの雄の体は婚姻色で美しい金色に染まります。ただ、その姿を野外で見かけることは、昨今ほぼありません。日本固有の淡水魚カワバタモロコは、各地でなぜ激減し、絶滅危惧種となったのか。分布東限に当たる静岡県産の貴重な魚(生体)を水槽展示し、県内での生息状況や保護活動について紹介します。





富士山の「合目」のハナシ

現在、静岡県・山梨県の富士山の各登山道にある「合目(ごうめ)」の標記。
各登山道の各合目の標高は同じではないことを知っていますか？
また、同じ登山道でも時代によって何度も「合目」は付け替えられてきたのです！

4/27(土) → 6/9(日)

静岡県富士山世界遺産センター2階 企画展示室
9:00~17:00 ※最終入場は閉館の30分前

※休館日:5/21(火)

料金(常設展観覧料)／一般:300円

団体(有料観覧者20名以上):200円

15歳未満・70歳以上・学生・障がい者等無料(要証明)

※本企画展は常設展観覧料でご覧いただけます。

謎!?!の多い富士山の「合目(ごうめ)」のハナシ、
誰かにきくと話したくなるトリビアを学びましょう!



大高 康正 富士山世界遺産センター教授

須走口登山道



静岡県側の富士山各登山道 左から:御殿場口登山道、須走口登山道、大宮・村山口登山道、富士宮口登山道

トリビア①「富士山の「合目」のゼンシ」を学ぶ!

「合目」標記は、江戸時代の途中から使われ始めますが、各登山道の「合目」と「合目」の間に、「勺(しゃく)」という単位が設定されている場合があります。「合」と「勺」は容積の単位をもとにした標記であったと考えられますが、「合目」標記が生まれる前史(ゼンシ)について学んでいきます。

トリビア②「富士山の「合目」のレキシ」を紹介!!

富士山の各登山道のうち前近代から近現代にかけて継続して利用されてきた静岡県側表口の富士宮ルート(大宮・村山口登山道、富士宮口登山道)、御殿場ルート(須走口登山道、御殿場口登山道)、須走ルート(須走口登山道)、山梨県側の吉田ルート(吉田口登山道)について、絵図や絵葉書などを交えて、その変遷の歴史(レキシ)を紹介します。

関連イベント

公開講座「富士山の「合目」のハナシ」5/19(日)14:00~15:30

- 講師:大高康正(静岡県富士山世界遺産センター教授)
- 定員:30名 ●会場:静岡県富士山世界遺産センター1階研修室
- 参加費:無料、要事前申込
- ※センター公式HP内の予約システムからお申し込みください。
- ※申込期間:4/1(月)~5/15(水)

担当研究員によるギャラリートーク

4/27(土)、28(日)、5/18(土)、19(日)、6/8(土)、9(日)
各日 10:30~、13:30~(各回30分程度)

- 会場:富士山世界遺産センター2階企画展示室
- ※無料(常設展観覧券が必要です。)事前申込不要

Hot Topic

新展示登場!
3階「受け継ぐ山」に、
「人々の心に
根付く富士山」が
加わりました!



赤青めがねやステレオビューワーで、明治時代の富士山写真などを立体的にご覧いただけます。当時の人々がどのように富士山を見ていたのか、思いを馳せつつ覗いてみてください。



静岡県富士山世界遺産センター

富士宮市宮町5-12 電話番号/0544-21-3776 開館時間/9:00~17:00(最終入館16:30)(7・8月9:00~18:00 最終入館17:30)
休館日/毎月第三火曜日、施設点検日、年末
常設展観覧料/一般300円、団体(有料観覧者20名以上)200円/人、15歳未満・70歳以上・学生・障がい者等(要証明)無料



HPはこちら